

地域おこし協力隊 通信 VOL.67

お問い合わせ先
(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ
電話 5-1114 告知端末機 5-8814
(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」
電話・告知端末機：9-7367

集落支援担当 江坂文昭隊員



「おかげさまで」

昨年10月に着任し、はや10か月が過ぎました。コロナ禍で業務や生活にさまざまな制約が課せられている中ですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

移住してきた当初は、「長く厳しい冬を果たして乗り切れるだろうか」と不安でいっぱいでしたが、周囲の皆さんの「おかげ」で何とか乗り越えることができました。移住者の私に温かく親切に接していただいた皆さんに、この場をお借りして感謝申しあげます。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

さて、仕事面ではコロナ禍で各種イベントが中止になり、なかなか皆さんにお目にかかる機会がありませんでしたが、少しずつ自分の進むべき方向が見えてきたような気がします。超えなければならぬハードルや難易度の高い課題が多いですが、じっくりと腰を据えて取り組んでいきたいと思えます。

一方、プライベートでは何かのお役に立てればと思い大型特殊免許を取得しました。普通自動車免許を取ったのがはるか40年ほど前でしたので、久しぶりにとても緊張しました。また、地域おこし協力隊のセミナーなどにも参加させていただき、多くの知り合いをつくることができました。

この広報誌が皆さんのもとに届くころには、北海道の短い夏の盛りだと思えます。新型コロナウイルス感染症に気をつけながら、釣りやハイキング、キャンプ、BBQなど初めての北海道の夏を思い切り楽しみたいと思えます。



草原から利尻山を眺む

観光振興担当 吉原ゆりか隊員



こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。朝、窓を開けると鳥たちのさえずりが聞こえてくる心地良い季節になりました。自然の中に一人である時、マスクを外して深呼吸すると花の香りや空気の味をより濃く感じられます。

さて、隊員として最終年の活動で力を入れているのがトナカイ観光牧場に隣接している「ノースガーデン」の魅力発信です。このガーデンはブルーポピーが咲くことで知られ、町外からもたくさんの方が訪れます。ブルーポピーは「幻の青いケシ」と呼ばれ、花を咲かせるまで大変な時間と手間がかかることでも有名です。

また、ここではブルーポピー以外にも150種以上の花が咲いていることを皆さんにご存知でしょうか。中には日本名がついていないとても希少な花もあります。開花時期が早い花は4月に咲き始め、秋まで代わる代わる新しい花が咲くので、訪れるたびに違う花と出会うことができるのがこのガーデンの魅力の一つです。その中で私が取り組んでいることは、これまで2年間かけて写真を撮りためたガーデン内の花の写真をリストとしてまとめることです。お花を見に来た人たちが、お気に入りの花を見つけた時にすぐ名前を調べることができるようにしたいです。

また、ガーデン内に咲く花を使った「ジェルキャンドル」づくりも行っています。製作は試行錯誤の繰り返しで、お披露目まで少し時間がかかりますが、花たちの美しい色と形を残せるものを目指しています。パンフレットも作成しており、幌延町へ来られた方に、「いつ行ってもきれいな花が咲いているガーデン」として足を運んでもらえるよう魅力発信に努めたいです。



車椅子・ベビーカーも入れる区画ができました!